

カンパチ種苗生産技術の開発と移転

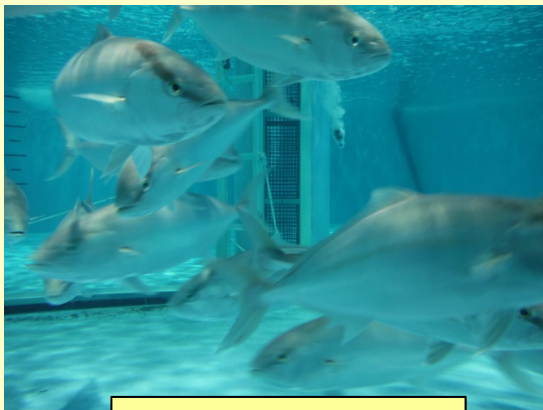
企画・栽培養殖部 研究専門員 外菌博人

目的

- 鹿児島県のカンパチ養殖生産量は全国第一位
(生産量21千トンは全国の54%, 生産額は約163億円)
- 中国産天然種苗に依存しているので・・・
 - ・種苗コストが高い
 - ・確保が不安定
 - ・疾病の持込リスク
- 種苗量産の技術を開発し、養殖業者に提供する体制の構築を図る。

取組みの経緯

| | |
|----------|--|
| H 8年度 | 技術開発に着手 |
| H13年度 | 本格的な技術開発試験を開始 |
| H18～21年度 | カンパチ21プロジェクト |
| H22年度 | 県カンパチ種苗生産施設(垂水市)の整備 |
| H23年度 | 種苗量産と養殖業者への供給を開始 (公益財団法人かごしま豊かな海づくり協会 への県職員派遣, 技術移転及び生産委託) |



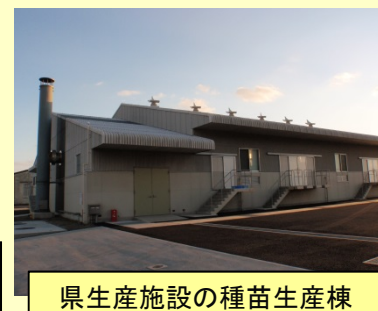
水技センターでの技術開発



県生産施設の親魚水槽



タッチパネルで日長制御



県生産施設の種苗生産棟



県生産施設の種苗生産水槽

生産実績

全長10cm: 尾数

| 年度 | 春生産 | 秋生産 | 合計 |
|-----|---------|---------|---------|
| H23 | 384,300 | 90,000 | 474,300 |
| H24 | 469,000 | 21,000 | 490,000 |
| H25 | 295,000 | 351,000 | 646,000 |
| H26 | 297,500 | 96,500 | 394,000 |



生産された稚魚

今後の取組み

- 成長や生残が天然種苗以上に良好な人工種苗の生産→育種研究の推進
- 生産コスト削減のための技術開発